



これまでキーワード、さらには画像検索を利用したネタ探しを紹介してきた。これにさらに踏み込み、一味違うウェブ検索を進めるため、世間的话题を見つける方法について紹介しよう。世間に共通的话题を通じて、自分流のネタを探ることがポイントである。過去、現在から未来に通じるネタを探ることができる。

第二十三話 未来・現在・過去的话题を見つける

これまでネタ探しの方法を説明してきた。このために必要なのが世間的话题を調べておくことである。どのような記事でも、世間的话题に結び付いている方が、関心をひきやすいからである。

勿論、世間の上っ面な話題や流行をただ追いかけることには賛成しない。大切なことは、絶えず変化する流行の底辺にある大きな時代の流れを掴み、時代の先を見通した話題を見つけることである。

浮かんでは消え、消えては浮かぶ世間的话题の渦中に、大きな時代の潮流の方向を見定めることが、重要なのである。それには、世間の様々な話題の中に潜む共通性を見つけ、それを軸にして自分流のネタ探しをすることが、大切なのである。

難しい話はさておき、ここでは、過去、現在、近未来の話題についての探し方について、具体的に紹介しよう。話題とは、現在や過去のものと思っている人が少なくない。世の中は長い時間の流れの中で動いており、過去から未来まで続いているのである。

かつての話題は、死んだ遠い昔話では決してない。歴史は繰り返す。何らかの切っ掛けによって、昔の話題は姿を変えて今現在に復活し、新たな注目を集めることになる。未来も例外ではない。近い将来、世間が注目することになるであろう話題探しは、単純な未来予測を超えた面白さがある。

まず、近未来の課題を探す方法について、紹介しよう。一番簡単なのが、海外の先進事例を探し、後進国日本のこれからの役に立たせることである。明治時代の「欧

米に学べ」、「和魂洋才」を、もう一度復活させることである。

未来のエネルギー問題、環境問題、健康問題などなどについて、海外で積極的な取り組みを行い成功している国や自治体、企業がある。それらの先進国、先進企業、先進団体の名前を見つけ、先進者の成功の秘密やノウハウを調べるのである。

このための最初の検索キーワードは、「エコ先進国」、「観光大国」、「IT先進国」、「サッカー王国」などなど。先進国や先進自治体の名前を把握したら、次のより具体的な問題の検索に進むのである。

次は、近未来の話題を調べている調査機関、いわゆるシンクタンク (Think tank) のレポートをチェックするである。シンクタンクの具体的な機関名や組織名は、グーグルで、{シンクタンク}とキーワード検索すれば、簡単にみつける。

シンクタンクは、それぞれ得意とする専門分野がある。それをチェックしておいて、海外や国内の各シンクタンクを覗きに行けば、無料で公開されている沢山の近未来レポートを見つけることができる。

自分でも簡単に見つけられる話題がある。それは、国内・海外の重要なイベント、例えば、サミット、大統領選挙、オリンピック、改正された重要法案 (の施行)、自然現象 (皆既日食のような) まで、数年先までの開催スケジュールが決まっているイベントである。

これらの近未来の話題については、事前に十分な下調べしておくことができる。これまでの経緯を確認しながら、予想される問題点や従来とは異なる視点を、常日頃、用意しておくのである。

例えば、2016年の次期オリンピック (リオデジャネイロ) である。視聴者側のスマートテレビ、スマホ、タブレットといったデジタル機器による視聴スタイルの変化という点からも、現在とは大きく異なるオリンピック観戦が展開されるであろう。

映像技術の進化、例えば、3Dテレビの普及、3Dディスプレイ、超高速カメラ映像、多視点映像、インテグラル立体テレビなどにより、拡張現実の世界が広がり、映像自体が今とは様変わりするであろう。

現在の高額なテレビの放映権問題の呪縛が解かれれば、テレビ放送に比べて劣位に置かれているネットの動画配信も、これまでにない新しい映像を視聴者に届けることになるであろう。

例えば、メダルとの無関係な選手達が活躍する映像や音声が、観戦者のスマホやデジカメによって、世界の人々に配信されるようになるかもしれない。

また、オリンピック選手の出場資格や選出基準も、大きく変わるかもしれない。例えば、日本人が国籍変更をして海外代表選手として、オリンピック出場を果たす選手が、多数登場するかもしれない。その逆に、日本の不得意種目においては、日本国籍を取得してオリンピック代表になる元外国人が増えるかもしれない。

次に、現在の話題に話を移そう。現在進行形の重要なイベントや事件でも、今後の動向に目が離せない事件やイベントは少なくない。海外で言えば、ギリシャ危機

と欧州の経済問題、アラブ諸国の民主化と政治、日本で言えば、TPP 問題、原発と電力問題、消費税問題などなど。

これらは、ヤフーのトピックス欄(<http://dailynews.yahoo.co.jp/fc/>)を見れば、政治、経済、社会、企業、スポーツ、技術などのすべての分野で、現在進行形の話題のネット記事にリンクが張られている。

過去の話題について簡単に調べる方法は、「今年の十大ニュース」、「新語・流行語大賞」といったキーワードを利用すれば、三十年以上に遡り、当時の話題やニュースを調べることができる。

海外の話題も簡単に探せる。「今年の十大ニュース」に、アメリカや台湾といった国名、政治や経済や医療といった分野名、更に調べたい年度を加えて検索すれば、自分の関心のある国や分野における当時の話題を、調べることが出来る。

我々は、過去の重大事件については、1年後や10年後といった節目にあたる時点に、回顧する習慣がある。テレビや雑誌といったメディアは、一斉に回顧の特集を組む。そのタイミングに合わせて、ネタ探しをしておけば、当時とは異なる視点からの、新しい話題を提供することが容易になる。

更に、有名な歴史的行事やイベント、著名な政治家や芸術家などについては、100年から1000年といった長いスパンで、回顧行事が繰り返される。例えば、江戸開府400年記念事業(2002年)、平城遷都1300年記念事業(2010年)から、加藤清正公生誕450年・没後400年記念事業(2010年～11年)、森鷗外生誕150年記念事業(2012年)などなど。

日本だけではない、世界中の有名人や歴史上の人物の回顧行事は、毎年、世界各地で展開されており、簡単に見つけられる。グーグルで、{生誕 年記念 美術}、{没後 年記念 音楽}、{生誕 年記念 作家}などとキーワード検索をすればよい。

更に、「生誕」や「没後」に相当するキーワードとしては、開港、開国、建国、開局、独立、開学などなどのキーワードがある。これらの用語を試してもらえれば、意外な人物や組織体が見つかる。意外な発見が多く結構楽しいのである。

☆☆

WebCR 編集部からのお知らせ

本誌に連載／掲載されている記事に関するご質問、ご意見をお待ちしております。近い将来に予定されているプロジェクトに先立って不安や問題点の確認をなさりたい方、現在進行中のシステムのプロジェクトマネジメントにおけるトラブル関連など、何でも結構ですので、下記メールアドレスまでお寄せ下さい。

cr-info@jmsi.co.jp

☆☆